

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	公共交通対策特別委員会	会議場所 第3委員会室	
		担当職員 阿久根由美子	
日 時	平成25年10月24日(木曜日)	開 議	午後 4 時 03 分
		閉 議	午後 4 時 51 分
出席委員	石野 ○立花 井上 福井 堤 (中澤欠席)		
執行機関出席者	< 政策推進室 > 山内室長、桂担当室長 < 政策推進課 > 竹村課長、柏尾担当課長、大石主幹		
傍聴者	市民1名	報道関係者 - 名	議員 - 名()

会 議 の 概 要

1 6 : 0 3

1 開議

〔石野委員長 開議〕

〔事務局 日程説明〕

2 議題

1 6 : 0 5

〔政策推進室 入室〕

(1) 公共交通について 【政策推進室】

公共交通に関する議会提言の対応状況報告

〔政策推進室 あいさつ〕

< 政策推進室担当課長 >

○ 将来計画の策定・アンケート調査の実施

計画策定を目的にアンケート調査を実施した。

○ 乗合タクシーの運行

定時定路線を基本に考えている。ボランティア輸送、地域運営交通等の手法など総合的に研究したい。

○ 運行体系、料金体系の見直し等

民間運賃も参考にしたい。今は大きな路線変更の要望はなく、府補助の関係もあり大きく変更する必要はないと考えている。

アンケート調査で意識向上に関する設問を設けた。H25 年度にバスマップを作成し路線の周知に努めた。今後も広報を通じて啓発活動に努めたい。

誰もが移動できることを基本に、アンケート調査結果を重視し、検討を進める。

1 6 : 1 0

〔質 疑〕

< 福井委員 >

ボランティア輸送、地域運営交通の実現の方が乗合タクシーより障害が多いのではないのか。

< 政策推進室担当課長 >

ボランティア輸送はNPO団体が運営されるもの、地域運営交通は区、自治会等が

単位のもので、市からの補助が考えられる。制度のハードルは高い。

< 福井委員 >

現実的でないのか。

< 政策推進室担当課長 >

積極的に考えていないが、選択肢として考えておく必要がある。

< 福井委員 >

現存のタクシー会社に依頼して活用するのが早いと思う。

< 立花副委員長 >

乗合タクシーの運行が実現するよう検討願う。

16 : 15

アンケート調査中間報告

[政策推進室 説明]

< 政策推進室担当課長 >

本資料を 10 月 30 日開催の地域公共交通協議会に提示する予定。

16 : 38

[質 疑]

< 井上委員 >

車両は現行どおりでサービス向上を図るのか、増車するのか。

< 政策推進室担当課長 >

増車も含めて検討する。現状では要望を満たせないと思っている。

< 井上委員 >

コミュニティバスとふるさとバスの違いを市民は理解していない、説明の必要がある。

< 福井委員 >

アンケート調査で、仮に病院行きが既に運行がされていたら現有路線の効果はあがっている。そのように、現状が違えば結果が違ふ。

< 立花委員 >

全市的視野で、声を生かした計画策定を望む。特別委員会で提言をまとめる。

< 井上委員 >

アンケート調査結果で予想外のことはあったか。

< 政策推進室長 >

高齢者から今の運賃（低額）では申し訳ないという意見があったことである。

< 井上委員 >

運賃を上げ路線を増やす考えはないのか。

< 政策推進室長 >

公共交通は採算が合わない。ふるさとバスは6分の1、コミュニティバスは4割の収益である。行政負担の上限を設定し、そのなかで効率化を図る手法を考え、できないところを補完する方法を研究しなければならない。

[政策推進室 退室]

16 : 48

3 その他

< 石野委員長 >

[別紙説明]

10 月末までに個人の意見を記載し事務局に提出願う。

意見は、委員会でまとめ、最終議会としての意見となる。

まとめるうえでは委員合意を基本に個別具体的なことは対象とせず、計画策定のための提言をまとめていくことを認識願う。(全員 了)

○次回委員会日程

〔正副委員長で調整後連絡〕

散会 ～ 16 : 51